

日本核磁気共鳴学会「若手研究者渡航費助成金」 平成 22 年度第一回募集“51th ENC 参加補助”に関するお知らせ

「若手研究者渡航費助成金」について

我が国の生体系 NMR 研究の基盤強化に多大な貢献を果たされ、また本学会の創立時に理事を努められた故京極好正大阪大学名誉教授のご遺族より、本学会の若手会員の海外における NMR 国際学会への渡航援助のためにご寄付をいただきました(2004年)。理事会では、ご遺族の意思を尊重し、「京極記念基金」を創設して若手 NMR 研究者に、本学会の指定する生体系 NMR 関連国際学会への参加登録費用、及び渡航・滞在費用の一部を援助して参りました。2007 年には、LA システムズ社、故阿久津政明氏のご遺族より本基金にご寄付をいただきました。これを機会に、上記基金を「若手研究者渡航費助成金」に衣替えし、渡航援助の枠を生体系 NMR から NMR 一般に広げることいたしました。

今回は、下記国際会議の若手研究者参加支援となりますのでご案内申し上げます。

■応募対象の国際会議

51-th ENC (Experimental NMR Conference)
2010 年 4 月 18 日-4 月 23 日、Daytona Beach,
Florida, USA (<http://www.enc-conference.org/>)

■応募資格

- * 応募時に会費納入済みの日本核磁気共鳴学会会員であり、35 歳以下であること。
- * 大学院生(博士課程後期に在籍)、博士研究員、及びそれに順ずる者。
- * 研究成果を海外で開催される国際学会やシンポジウム等で発表する者、または本学会が推奨する Practical course 等に出席する者。(応募方法；注意 2、3 参照)
- * 他の旅費補助金を受けていないこと(本助成金で足りない部分を研究室等で補填するものは除く)。なお、受領決定後に他の補助金を受けられることが明らかになった場合には、速やかに選考委員長宛にその旨連絡すること。
- * 所属する研究所/研究室において希望者を選考し、同じ国際会議に対して 1 名のみ応募すること。

■応募方法

1. 応募書類

- * 学会発表・論文リスト含む簡単な履歴書(注 1)
- * 国際会議等に出席を希望する理由(注 1)

- * 助成金が必要である理由(注 1)
- * 会議出席申込書のコピー(注 2)
- * 国際会議の発表採択証明または Practical course の出席採択証明(注 3)

(注意 1) 様式は自由

(注意 2) 発表要旨を含む。受付期間中に応募書類「会議出席申込書のコピー」が準備できない場合、発表予定要旨を締切までにまず送り、申込次第すみやかに正規の書類を送付のこと)

(注意 3) 「国際会議の発表採択証明または Practical course の出席採択証明」を後送の場合、採択結果が届き次第すみやかに送付のこと)

2. 応募書類送付先

応募締切日・申請受付期間に下記まで電子メールの添付ファイル(pdf 形式または Word 形式)で送付すること。

(応募にあたって、『応募方法』の注意 2、注意 3 をご参照ください)

送付先：若手研究者渡航費助成金選考委員長
出村誠 (demura@sci.hokudai.ac.jp)
応募締切日：2010 年 3 月 19 日(必着)

■選考方法

応募締切日までに受け付けた応募者から、若干名の援助金受領者を若手研究者渡航費助成金選考委員会において選考し、その結果を会長名で本人宛に通知します。また受領者は NMR 討論会において賞状をもって顕彰します。

■助成額・採択件数

助成額：1 件あたり 10 万円(若干名)

■報告の義務

援助金受領者は参加した国際会議等の参加報告書(1 ページ(A4)・形式自由)を帰国後 1 ヶ月以内に選考委員長宛へ提出してください。NMR ニュースレターおよび学会ホームページで参加報告書を公開します。